

殺	ましし迦具土神の頭	に成りませる神名は、正鹿山津見神。次に胸に成	甚久	て難待たまいき。故、左之御美豆良に刺せる湯津津間櫛之男柱
りませる神名は、	淤藤山津見神。次に腹に成りませる神名は、奥山津見神。	一箇取闕而、燭一火	入見之時に、	宇士多加禮斗呂岐豆、於頭者大雷居
次に陰に成りませる神名は、	闇山津見神。次に左手に成りませる神名は、	り、於胸者火雷居り、	於腹者黒雷居り、	於陰者拆雷居り、於左手者若雷居
志藝山津見神。次に右手	に成りませる神名は、羽山津見神。次に左足に	り、於右手者土雷居り、	於左足者	鳴雷居り、於右足者伏雷居り、并て
成りませる神名は、	原山津見神。次に右足に成りませる神名は、	八の雷神	成居き。	
戸山津見神。故、	斬たまえる刀名は、天之尾羽張という。亦名は、	是に伊耶那岐命、	見畏而逃還之時に、	其妹、伊耶那美命、令見辱吾
伊都之尾羽張という。		たまいて、即、	豫母都志許賣を遣わして、	令追き。爾伊耶那岐命、取黒御鬘
是に、其妹、	伊耶那美命を相見まく欲ほして、	黄泉國に追往ましき。爾、	投棄たまいしかば、	乃蒲子
殿騰戸より出向之時、	伊耶那岐命、語詔之。	愛我那邇妹命。吾、	汝と與	しかば、亦、其右御美豆良に刺させる湯津津間櫛を引闕而投棄たまえば、
作之國、未作竟故	可還。爾に伊耶那美命答白。	悔哉	不速來。吾	筭
は、	黄泉戸喫しつ。然れども愛しき我那勢命。	入來坐之事恐故	ば欲還を。且	軍を削えて令追き。爾、
具に黄泉神と相論ん。	莫視我。如此白而。	其殿内に還入ませる間。		を、猶追て黄泉比良坂之坂本に到る時、
				在其坂本桃子を三箇取りて、



なりませるかみのみな かむなぢひのかみ こゑ おおなぢひのかみ こゑ いづ のめのかみ こゑ みなせし

所成 神名 は、神直毘神。次に大直毘神。次に伊豆能賣神。次に水底に

そそぬ とゑ なりませるかみのみな そとわたりのみかみ こゑ そとつのおのみこと なかに そそき

滌 たまう時に、所成 神名 は、底津綿津見神。次に底筒之男命。於中滌 た

ぬぬ なりませるかみのみな なかつたりのみかみ こゑ なかつのおのみこと みすのこに そそき

まう時、所成 神名 は、中津綿津見神。次に中筒之男命。於水上滌 たまう

とゑ なりませるかみのみな うわたりのみかみ こゑ うわたのおのみこと

時 所成 神名 は、上津綿津見神。次に上筒之男命。

このみはしり わたりのみかみ あしみ むらりの おやがみ もちいへかみ なり かれ あづみのむらじらは この

此三柱の綿津見神者、阿曇の連等が祖神と以伊都久神也。故、阿曇連等者、其

わたりのみかみなり うしひがなちくへみこと すそなり そのちよつのおのみこと なかつのおのみこと

綿津見神之子宇都志日金拆命之子孫也。其底筒之男命、中筒之男命、

うわたりのおのみこと みはしりのみかみ すみのそのみまそのおのみなり

上筒之男命の三柱神者、墨江之三前大神也。

うた ひたりのみかみ あひこ とゑ なりませるかみのみな あまてらすおのみかみ こゑ みせりのみめ

於是、左御目を洗 たまいし時に、所成 神名 は、天照大御神。次に、右御目

あひこ とゑ なりませるかみのみな つへたのみこと みはな あひこ とゑ

を洗 たまいし時に、所成 神名 は、月讀命。次に、御鼻を洗 たまいし時に、

なりませるかみのみな たけはやすすののおのみこと みまのくたひ ややすけつひのかみ はやすののおのみこと

所成 神名 は、建速須佐之男命。右件、八十禍津日神より、速須佐之男命

とゑ なりませるかみのみな そそぬ あれませるかみなり

まで、十四柱神者、御身を滌 たまうによりて所生者也。